#### 初めての巻き寿司体験に挑戦



**阴海の新のりを楽しみに** むつごろうランドで新のりフェア

12月14日、柳川むつごろう会主催の第5回柳川む つごろうランドにぎわいイベント「新のりフェア」が 開催されました。有明海で採れた柳川産の新のりを手 に入れようと 1000 人が来場。開始から行列ができ大 盛況となりました。その他、軽トラ市やじゃがいも収 穫体験、巻き寿司づくり体験などを実施。久留米市か ら訪れたのりが大好きという堤穂華さん(6歳、写真右) は「じゃがいも収穫体験や巻き寿司体験ができて楽し かった。食べるのが楽しみです」と話してくれました。

#### 寄付金と理科教材を金子市長に贈った緒方理事長(右)



科の楽しさを子どもたちへ 緒方財団が小中学校に理科教材などを寄付

緒方記念科学振興財団が、市内 19 小学校に約 120 万円の理科教材を、6中学校に寄付金60万円を贈りま した。平成8年から中学校、19年から小学校へ寄付を 続ける同財団。また、学生への奨学金や地域活動の助 成などにも取り組んでいます。12月14日、市役所柳 川庁舎を訪れた緒方祐介理事長は「初代理事長の緒方 村男が生きていれば、今日が106回目の誕生日。財団 設立当初からの理念のとおり、1人でも多くの子ども が笑顔になれば」と寄付に込めた思いを話しました。

ボトルラベルを作成した柳川高校商業科2年5組



## 柳川高校の生徒がボトルラベルを作成

柳川高校の生徒が、リポビタンDのボトルラベルを デザインしました。これは、同校が生徒の表現力やコミ ュニケーション能力を育むために大正製薬と連携して行 った取り組み。校内のプレゼン大会で選ばれた2年商 業科5組のデザインが商品化されました。青春をイメ ージしてデザインしたという松藤賞花さんは「自分たち が考えたデザインをたくさんの人が手に取ってくれると 思うとうれしい」と話しました。商品は、12月下旬か ら同校の売店や同校近くのコンビニで販売しています。

#### 崩れないようにそっとカプラを積み重ねていく参加者



こまで高く積めるかな 親子カプラ積み木体験を開催

中央公民館は、12月18日に親子カプラ積み木体験 を開催しました。カプラは、フランス生まれの木製ブロッ ク。イメージしたものを何でも作ることができると言わ れています。この日は、9組23人の親子が参加。1組 約 1400 枚の積み木を使って、タワーやかまくらを作 りました。およそ1時間半の作業で、自分の背丈より 高いタワーを作った城内小1年の徳久泰斗君は「初め てカプラをした。高く積み上げた積み木にライトを置い て飾りをつけるのが難しかった」と話してくれました。

# まっかどしポートに

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。 【問】企画課広報広聴係(☎77・8425)

### **土土** 楽で柳川を盛り上げよう 柳川音楽家協会設立記念コンサート

柳川音楽家協会は12月19日、市民文化会館でク リスマスコンサートを開きました。これは、同館の開 館を機に柳川の音楽を底上げしようと、地元の音楽家 を中心に7月に設立した同協会の活動第1弾。会場 となった白秋ホールでは、ピアノやフルートの演奏の 他、独唱などの全13プログラムが披露され、美しい 音色や歌声は訪れた約460人を魅了しました。同協 会の須崎真美子会長は「これからも地域の音楽を盛り 上げていきたい」と今後の展望を語りました。

中高生の部で最優秀賞に輝いた緒方さん(中央)



七・五で日常の気づきを表現 ヤング川柳大会の入賞者を表彰

12月12日、第27回ヤング川柳大会の入賞者表彰式 がありました。小中高生が応募した1910点の中から、 18点が入賞。小学生の部でニッ河小5年の木下で置え、 中高生の部で柳城中2年の緒方洸斗さんが最優秀賞に輝 きました。金、銀、銅賞は次のとおりです。(敬称略、かっ この中は学校名と学年)。【小学校の部】 D金賞=龍悠輝(垂 見3) ▷銀賞=井上千翔乃(柳河1) ▷銅賞=宮城彩刻(藤 吉3)【中高生の部】 >金賞=内田弐和佳(柳南中3) > 銀嘗=角崎優斗(柳川高 1) ▷銅賞=平川愛(大和中 3)

高い音響性能を誇る白秋ホールに美しい音色が響き渡った



迅速で的確な行動によって表彰を受けた山下さん(中央)



**孟** 気ある行動に感謝状 黒然火災に遭遇した2人が女性を救出

市は、迅速な行動で人命救助に貢献した佐賀県小城 市の山下勝則さん(61歳)と佐賀市の大里孝浩さん (43歳) に感謝状を贈りました。2人は昨年10月、 車で市内を走行中に筑紫町の民家から黒い煙が出てい るのを発見。すぐに大里さんが119番通報し、山下 さんは民家の中に入り高齢女性がいるのを確認。2人 で連携して女性を安全な場所まで避難させました。感 謝状贈呈式に出席した山下さんは、「何より女性が無 事でよかった」と安堵した表情で話してくれました。

19 広報やながわ 2022/2/1